

教科書採択に関わる「選定の観点」について

各教科の教科書を選定するに当たって、視点の共通性の担保を図るため、基本方針から各教科の教科書選定につなげる「選定の観点」を設定し、選定の視点の根拠を明確にする。

教科書採択に関わる基本方針について	選定の観点	
1 学習指導要領の趣旨に則し、各教科の目標の達成に適したものであること。	①	基礎的・基本的な知識・技能
2 京都市の学校教育の基本方針，教育課程の内容，構成，授業時数，編成・実施上の配慮事項等を示した「京都市立学校教育課程編成要領」及び	②	思考力・判断力・表現力等
「京都市立学校教育課程移行措置要領」に則したものであること。	③	学習意欲
3 京都市が目指す子ども像である「伝統と文化を受け継ぎ，次代と自らの未来を創造する子ども」の育成に資するものであること。	④	言語活動の充実
4 一人一人の各教科で育むべき資質・能力の育成に向け，基礎的・基本的な知識・技能の取得，思考力・	⑤	生涯にわたって学び続ける力 (問題解決的な学習・探究能力の充実)
判断力・表現力等の育成，学びに向かう力，人間性等の涵養を目指した学習活動の充実に寄与するものであること。	⑥	各教科独自の観点・他教科等との関連
5 基本的人権の尊重の視点に立ち，人権文化の担い手を育成するとともに，よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うものであること。	⑦	基本的人権の尊重・道徳性の育成